

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 WISDOM学院稲沢教室

公表日 令和8年3月16日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		天候により運動場を活用したり、室内環境の構成を見直したりして、利用者さんが伸び伸びと過ごせるように対応している。	運動療育に取り組むスペースも活動内容や天候により運動場も有効に活用していく。外の環境も構成を見直していく。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>			玄関前や室内には階段があり、送迎車の内装からも車いすの方にご利用いただくのは難しい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		アルコール消毒をはじめとした丁寧な清掃を日々心掛けています。子供たちの年齢、活動の内容により、適宜環境構成を整えている。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		2階にある支援室を音に過敏な利用者さんや中学生以上で個室対応が望ましい利用者さん、クールダウンが必要な利用者さん等、様子を見て臨機応変に個室として対応している。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		日々の打合せにより、振り返りの時間を設けて支援の見直し、次回はどのようにしていくかの話し合いを繰り返している。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年に1度適切なタイミングで保護者の方に評価表を配布し、弊社の支援を評価していただき、回答を職員で共有し、できる部分から改善に努めている。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日々の打合せにより、振り返りの時間を設けて支援の見直し、次回はどのようにしていくかの話し合いを繰り返している。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		行っていない。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		運動療育を専門にした講師を招いて、現場に適した環境、運動内容を選択し療育方法の研修会を開催した。	外部研修では開催日時により営業時間外や休業日に当たった場合に出席できないスタッフがでてきてしまうこと。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントについては詳しい項目に分けて、弊社だけでなくご家庭、学校での姿なども考慮している。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		支援後や支援前などに時間をつくり、モニタリングの時期に情報交換や意見交換、共有の場として設定している。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントについては詳しい項目に分けて、弊社だけでなくご家庭、学校での姿なども考慮している。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		毎月の予定表をベースにスタッフで利用者さんに合った活動内容を季節感やタイミングを受けて立案している。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		スタッフだけではなく利用者さんにも意見を聞きながら子供たちを中心とした支援内容に努めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個室を適切に活動し、個別、小集団の支援が行えるようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		利用者さんの体調や前日の様子もきちんと踏まえた上でいろいろな状況を予測し、その場合はどのように対応していくかを細かく確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		日々の打合せにより、振り返りの時間を設けて支援の見直し、次回はどのようにしていくかの話し合いを繰り返している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		玩具や器具なども種類によっては複数用意したり、一つに限定したりして状況により自分で考えて使用ができるようにしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サービス担当者会議が行われるときには、必ず該当さんの情報を共有確認したうえで参加するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		近隣の医療機関と協力医療機関として提携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者様の許可を得て適宜連絡を取り、情報共有したり、こまやかな連絡調整を行って信頼関係を築くようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			市内保育園以外とは、なかなか連携が取れずにいるのが課題である
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		該当の利用者さんがいる場合は相談支援員さんを通して必要な情報交換の機会を作っていただくようにする	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		市内の連絡会に参加時ファシリテーターの方とお話する機会を積極的に作っている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		長期休暇中は学童指導員の方とも連絡を取り、デイでの様子を共有したり、児童館にも外出する機会をつくり、地域の子供さんとかかわれるようにしている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			日時により調整して参加できるようにする
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時やLINE、電話などその時に一番いい形で利用者さんの状況を報告、相談、共有できるように努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		訪問やLINE、電話などその時に一番いい形で利用者さんの状況を報告、相談、共有できるように努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月の予定表をベースにスタッフで利用者さんに合った活動内容を季節感やタイミングを受けて立案し、利用者さんにも分かりやすいように工夫して発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		聴覚障がい特化したデイスサービス等に見学や情報交換する機会を作り配慮の仕方を学んでいる。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前アセスメント時にしっかり確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		該当者なしのため
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットに該当するかを含めてスタッフで打合せする時間を取り対策について考え実行している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイスサービス計画に記載しているか。	○				